



今年度の目標

- いつでも いのちを守る
- どこでも あいさつをする
- だれとでも なかよくすごす

ともに新聞

Be Together

～ 99年間の学びとともに ～

2025年 (令和7年)

6月24日
火曜日

発行所 蓮池小学校校長室 〒653-0838 神戸市長田区大谷町1-1-10 / https://www.kobe-c.ed.jp/_view/hsi-es

グラデーション (段階的変化) の世界



上の画像は6年生「クリームソーダ」、5年生「富士山」をモチーフとした図工の作品です。どちらも水のふくませ具合で色が滑らかに変わることを実感できます。いわゆる「グラデーション (段階的変化)」です。この技法を身に付けると表現の幅が圧倒的に広がります。なぜなら、立体感や質感の表現に生かすことができる「光」を描けることができるからです。

左上のアジサイは本校の学習園で咲き誇っているものです。よく見ると一つ一つが紫のグラデーションであることが分かります。自然界はほとんどがグラデーションです。淡色から濃色、あるいは単色から単色への混合色など、色彩は無数で豊かです。

教育の世界では／知識か思考力か／詰め込みか探究か／教師主導か子供主体か／手書きかパソコンかといった二項対立がしばしば語られます。しかし、現実には単純ではありません。子供たちの学びも教師の実践も白か黒かでは語れない、無数の色合いをもっています。グラデーションのように異なる価値や立場が連続的につながっている状態です。「知識」と「思考力」は対立するものではなく、相互に補完し合う連続体として捉えることができます。

例えば、ある授業では教師が知識を丁寧に伝えた後、子供たちがその知識をもとに自分なりの問いを立て、探究を深めていく。これは豊かなグラデーション授業の一例です。

子供 (大人も) の感情もグラデーションです。喜怒哀楽だけではなく、もっと豊かで繊細な感情の色合いが隠れています。

なんとなく寂しい／ちよっとモヤモヤする／言葉にできないけど／気になる／嬉しいけど少し不安もある／等々これらの曖昧な感情を感じ取れることが大切です。感情を言葉にできると、心の自己理解力が進み、自分で感情を調整しやすいようになります。心のグラデーションに気付くことは「自分自身と仲良くなる第一歩」なのです。



熱中症予防行動 8つのポイント

 こまめに水分をとろう	 首や脇を冷やすのが効果的!	 日ざしもさけよう	 日ざさや帽子も忘れずに
 汗をかいたら塩分も大切	 暑さがきつい時はすずしい場所に	 こまめに休めいしよう	 声をかけ合おう

ねっ ちゅう しょう

熱中症

気をつけてくれなきゃクマっちゃう!